

MORI MORI TO PRESS

2014 vol.41

モリモリアレス

森田としかず(前埼玉県議会議員)

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ
 広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、埼玉県立熊谷高校、
 早稲田大学政経学部、カナダ・マギール大学留学、
 早稲田大学大学院博士課程を経て…
 28歳・県議選初挑戦(23票差で次点)
 30歳・訪問介護事業開始 32歳・県議選初当選
 33歳・介護施設上川原んち開設 36歳・県議選2期目当選
 38歳・衆議院議員選挙初挑戦(55,663票で次点)

〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
 tel.048-530-6001 fax.048-530-6002

 mori_morita  森田俊和

モリモリプレスとは!?

森田としかずのビジョンや政治に対する思い、地域活動の記録などを皆様にお伝えする広報紙です。
 ※バックナンバーはホームページからダウンロードしていただけます。



おそ 畏れを忘れず、備えを怠らず。 ~自然災害多発に思う~

ここ数ヶ月、深刻な自然災害が発生しています。自然からの恵みが多いことの裏返しとして、その脅威も計り知れぬものがあり、科学技術が発達した現代でも私たちの日常生活を脅かしています。

■広島の高雨災害

8月19～20日の豪雨による広島市の土砂災害では、死者74名、建物の全壊133件、浸水被害は4100棟以上にものぼる被害が生じました。秋雨前線に向かって南海上から温かく湿った空気が流れ込み、さらに広島・山口県境の山地によって生ずる上昇気流が積乱雲を断続的に発生させたことで、局地的な豪雨が降ったということです。

この気象条件に加え、この豪雨の前に既に降雨により土砂が水を含んでいたこと、市による避難勧告の発令が遅れたこと、被害にあった地域は山地を切り開いて造成した住宅地であったこと、などが被害を大きくした原因として指摘されています。

■台風18号

10月上旬に日本列島を襲った台風18号は、東海から関東の南部を通過し、太平洋に抜けました。この



静岡市内で東海道線が寸断され、復旧に2週間を要しました。(静岡新聞ホームページより)

台風では死者・行方不明者あわせ7名、2600棟の建物が損壊、あるいは浸水の被害に遭っています。人・モノの大動脈である東海道線も土砂崩れの被害に遭って寸断されました。

■御嶽山の噴火

百名山の一つで、登山客で賑わう御嶽山が9月27日に噴火し、死者、行方不明者あわせ64名の方が犠牲となり



(読売新聞9月28日朝刊より)

ました。この噴火は予測が難しい水蒸気爆発だったため、事前の注意喚起はなく、被災された方は無防備の状態に遭いました。また、周辺地域の農業、観光産業などへの影響は長期化が予想されます。

■いかに災害に対応するか…?

かつて私たちの祖先は、自然に対して「^{おそ}畏れ」を抱いてきました。自然災害は人々の生命を奪い、あるいはその年の収穫を根こそぎ奪い去ってきました。各地でお祭りが受け継がれてきたのも、何とかして自然を鎮めようとした人々の切実な思いがあったからだと思われま

す。現在では様々な防災への備えがなされ、生命財産を奪われるようなリスクは大変小さくなりました。しかし、ゼロにすることはできません。人口減少の時代、財政難もあって、これ以上土木費などの投資が難しくなっている状況もあります。今後、さらに防災減災について調査研究を進めると同時に、自然に対する適切な「^{おそ}畏れ」を抱くことも肝要です。人間が自然を完全に管理することはできません。過去の自然災害を調査し、被害が見込まれる地域を線引きして、その地域には住まないという姿勢を明確にすべきです。また地域ごとに想定される災害を見込んだ避難や復旧、補償の計画も用意しておくべきでしょう。これだけ災害の多い国です。災害はあって当たり前、それをしなやかに受けとめるまちづくりをしなければなりません。

いつ私たちの「戦後」は終わるのか…?(後編) ～「昭和天皇実録」公開に思う～

■「戦後」を終わらせる道

戦争はどちらかが100%悪いと言うことはできません。どちらにもそれぞれの論理があり、正義があります。しかし、私たちは敗戦したわけですから、戦争指導者だけでなく、それに信任を与えた国民やマスコミも含めて戦争に関する責任を受けとめなければなりません。

その上で、私たちがこの「戦後」から抜けるためには何が必要か考える必要があります。私は、次の「戦い」に勝つことだと思います。「戦い」と言っても武力による戦争に勝つことではありません。恒久的世界平和を実現するための戦いです。日本が、憲法前文にもあるように国際社会において「名誉ある地位」を得るといことです。私たちは自国の果たすべき役割をまだきちんと共有していません。日本は宗教的、文化的に寛容です。宗教で紛争を起こす国ではなく、これまでに大陸から、西洋から、多くのものを受け入れてきているため、柔軟性が高い国です。その利点を生かし、紛争や戦争が起こりそうときには、積極的に調停に入る、仲裁に入る、ということをやらなければなりません。世界で毎日どれだけ多くの命が戦闘で失われているか…。例えばイスラム教の地域にアメリカやフランスなどのキリスト教国が入っていくと、無用の対立を生じます。私たちにできることがたくさんあるはず。ぜひ、私たちが率先して、当事者の懐に飛び込み、世界平和の実現に向けて汗をかいていきましょう。

また、戦闘だけでなく、最近のエボラ出血熱の流行など、伝染病も世界の人々の生命を脅かすものです。飢餓にしてもそうです。

多くの人々が十分な栄養を取れずに命を落としています。人ごとではありませんが、水害、地震などの自然災害も平穏な生活を脅かし続けています。こうした人間に



東京裁判の正当性には疑問も多いですが国際的に「けじめを付けた」場であったことは否定できません

に対する脅威に対しても、私たちが人類の一員として、国際社会の中で責任を果たしていくべきだと考えます。

敗戦の責任を噛みしめつつ、それを発展的に昇華させていくことが次代を担う私たちの責務であると考えています。まず大きな柱があって、それを具現化するための憲法や法制度があるというのがものの順番です。憲法に

しても、集団的自衛権の話にしても、真ん中を通っている柱が見あたらないまま枝葉の議論がなされているように思われます。私たちがなすべき使命をふまえ、そのためには、どんな政策が必要なのか、改めて考えるべき時が来ています。



目で見える活動記録



キャンドルナイト

【9月15日】介護施設「上川原んち」にて。ソプラノ・笠原さん、テノール・對馬さん、ピアノ・寺崎さんにご出演いただきました。



植樹祭

【9月21日】行田総合公園にて、「いのちを守る森づくり みんなで植樹祭」が開催されました。宮脇昭先生も参加されました。



各所にて敬老会に参加

9月中、各地にて敬老会が行われ、私もお挨拶させていただきました。今の日本を築いていただいた皆様に感謝です!



活動報告



街頭にて



各地にて(熊谷→行田→羽生→加須) 9/21

座談会



熊谷市本石地区 いわさき歯科研修室にて 9/30

INFORMATION

■明るい日本を創る座談会

熊谷市 大里・高本地区

10/18(土) 午後7:00～

高本集会所にて 熊谷市高本10

→ご参加の際は事務所までご一報ください。

■街頭演説

10月26日(日)

10:00～八木橋東口前

10:20～熊谷駅北口

10:45～埼玉りそな銀行行田支店前

11:20～羽生市中央三丁目交差点

11:50～加須市役所入口交差点

→日時は都合により変更する場合があります。

応援していただける場合には、事務所までご一報ください。